

## 温水・蒸気ヒータ

### 安全上のご注意 据付説明書 取扱説明書

形 名	〈取付可能 室内ユニット〉
RBP-CP45C-R (右勝手)	RDA-MAP1120*HS/HSFI-1
RBP-CP45C-L (左勝手)	RDA-MUP1120*H/HF
RBP-CP50C-R (右勝手)	RDA-MAP1400*HS/HSFI-1
RBP-CP50C-L (左勝手)	RDA-MUP1400*H/HF
RBP-CP60C	RDA-MAP1600*HS/HSFI-1 RDA-MUP1600*H/HF
RBP-CP80C	RDA-MAP2240*HS/HSFI-1 RDA-MUP2240*H/HF
RBP-CP100C	RDA-MAP2800*HS/HSFI-1 RDA-MUP2800*H/HF RDA-MAP3150*HS/HSFI-1 RDA-MUP3150*H/HF

## 工場取付オプション

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」・「据付説明書」・「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。

## 目 次

安全上のご注意 .....	1
仕様及び取付方法	
RBP-CP45C-R/L .....	7
RBP-CP50C-R/L .....	8
RBP-CP60C/CP80C .....	9
RBP-CP100C .....	10
能力特性 .....	10

# 安全上のご注意

1. ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください

## 記号の意味

### △ 警告

取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。

### △ 注意

取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。



危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 《 I. 据え付け上の注意事項 》

△ 警告	
据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	!
据付工事は、この取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	!
据え付けは、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。強度不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。	!
パッケージエアコンを据え付ける際は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策をおこなってください。限界濃度を超えない対策については、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。	!
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故につながる恐れがあります。	
台風などの強風や地震に備え、所定の据付工事をこなしてください。据付工事に不備があると、転倒や落下などによる事故の原因になります。	!

## ⚠警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気工事に関する技術基準」、「内線規定」、および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。



配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線等に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



設置場所によっては漏電ブレーカの取り付けが必要です。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



電圧変動の大きい場所への設置は、おこなわないでください。感電や火災の原因になることがあります。



配線用遮断器は、ユニット個々に設置してください。1 個の配線用遮断機に 2 台以上のユニットを接続すると火災や感電の原因になることがあります。



別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電、火災の原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



据付作業では運転する前に、次のことを確認してください。

- ・ 配管接続は、確実に取り付け、漏れがないこと。
- ・ サービスバルブの弁が開いていること

サービスバルブが閉まった状態で圧縮機を運転すると、異常高圧となり圧縮機などの部品の破損の原因になります。また接続部で漏れがあると空気を吸い込むなどで更に異常高圧となり破裂、けがの原因になります。



## ⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



ドレン工事は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、屋内に浸水し、他の設備機器や家財等を濡らす原因となる場合があります。



水質基準に適合した冷却水および冷温水を使用してください。水質の悪化は、コイル等に腐食を生じ、水漏れの原因になることがあります。



ユニットを特殊な雰囲気（温泉地、海岸地区、油の多い所等）には設置しないでください。腐蝕等で感電や火災の原因になることがあります。



## ⚠注意

電気配線をユニット間で渡ることは行なわないでください。火災の原因になることがあります。



### 《Ⅱ. 使用上の注意事項》

## ⚠警告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。  
体調悪化・健康障害の原因となります。



パネルを開いたまま運転しないでください。  
やけどやケガの恐れがあります。



空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒を入れないでください。内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。



異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



電源スイッチやブレーカー等の入り切りによりユニットの運転・停止をしないでください。感電や火災の原因になります。



冷却水に水以外の熱媒を使用しないでください。  
火災や爆発の原因になります。



故障や破損をしたまま運転しないでください。重大な事故につながる恐れがあります。修理に不備があると感電・火災等の原因になります。



ユニットを改造しないでください。  
感電・火災等の原因になります。



電気部品箱のフタを開けないでください。  
感電の原因になります。



濡れた手でスイッチを操作しないでください。  
感電の原因となることがあります。



燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。  
換気が不十分な場合は、酸欠の原因になることがあります。



エアコンの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。  
燃焼器具の不完全燃焼による事故の原因となることがあります。



長期使用で据付台等が痛んでないか注意してください。痛んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。








ユニットを水洗いしないでください。  
感電の原因になることがあります。












ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。





## ⚠警告









モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。故障や感電の原因になることがあります。	
ユニットのキャビネットや電装箱の蓋を外したままの運転は行なわないでください。充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因になることがあります。	
電磁接触器を指で押して圧縮機等を運転しないでください。むりやり運転させると、感電・火災等の原因になることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。不当に変更すると、火災等の原因になることがあります。	
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブ等の火気を消し、床面を掃くように換気し、お買い上げの販売店・専門業者または、弊社支社店に連絡してください。不燃性・非害性・無臭性の安全冷媒を使用していますが、火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。	



## ⚠注意

食品・動植物・精密機械・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。品質低下等の原因になることがあります。	
動植物に直接風が当たる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。	
掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。	
空気熱交換器のアルミフィンには触れないでください。触れると、ケガの原因になることがあります。	
ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。	
可燃性スプレーをユニットの近くに置いたり、ユニットに直接吹きかけたりしないでください。発火の原因になることがあります。	
正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。針金や銅線を使用すると火災の原因となります。	
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、全て開閉状態を確認してください。特に、保安上のバルブ（安全弁等）は運転中必ず開いてください。開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になることがあります。	
長期間停止される場合や、冬期に使用されない場合は、水配管を不凍液で満たされるか、または、水抜きを行なってください。水を入れたままで放置されると、水漏れ等の原因になることがあります。	

⚠注意	
冷温水は飲用、給湯用には用いないでください。 健康を害する原因となることがあります。	
圧縮機や冷媒配管等の高温部には触れないでください。 高温部に触れると、やけどの恐れがあります。	

### 《Ⅲ. 移設・修理時の注意事項》

⚠警告	
修理は、お買上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	
改造は絶対に行なわないでください。 水漏れや感電、火災等の原因になります。	
ユニットを移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。 据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	
冷媒や冷凍機油の種類を間違えないでください。 火災・爆発の原因となることがあります。	
保護装置を短絡して、強制的な運転を行なわないでください。 火災や爆発の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。 火災等の原因となることがあります。	
冷媒の溶栓をハンダ付けしないでください。 規定外の溶栓を使用されますと、爆発の原因となることがあります。	
屋内で修理される場合は、換気に注意してください。換気が不十分な場合、万一冷媒が漏洩すると酸欠事故につながる原因となることがあります。	

⚠注意	
ブラインや洗浄液等の廃棄は、法の規定に従って処分してください。違法に廃棄すると法に触れるばかりでなく、環境や健康に悪影響を与える原因となることがあります。	
フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。	

# 取扱説明書・据付説明書

## ヒータを取付ける前に

ヒータを取付ける前に室内ユニット制御基板より DN コード F6（オプション基板設定）を 0000 から 0001 に設定変更してください。

また、停止時にヒータの余熱を冷ます為に、送風機の遅延設定を行ってください。

特に蒸気使用の場合は、ファンモータおよびファンシャフト用ベアリングの寿命を低下させないために、蒸気を停止してから 1 分間以上送風運転をするような設定に変更することをお勧めします。

例：暖房停止時に 3 分遅延する場合

DN コード CB（暖房停止時ファン残留運転）を 0000 から 0018（約 3 分）に設定変更。

同様に冷房時に遅延する場合は、DN コード CA（冷房停止時ファン残留運転）を 0000 から 0018（約 3 分）に設定。

送風時に遅延する場合は、DN コード C9（送風停止時ファン残留運転）を 0000 から 0018（約 3 分）に設定してください。

＊ DN コードの設定変更方法は室内ユニットの据付説明書を参照してください。

## ■仕様及び取付方法

RBP-CP45C-R/L (適用ユニット: RDA-MAP1120\*HS/HSFI-1、RDA-MUP1120\*H/HF)

注1、吸込側から見て、右勝手(R)、左勝手(L)となります。

注文時に勝手方向を指定してください。

仕様表		
構造	プレートフィンコイル	
列数	2	
フィンピッチ	14枚/25.4mm	
質量 (kg)	47	
保有水量 (L)	15.9	
最高使用圧力	温水(MPa)	0.49
	蒸気(MPa)	0.14

No.	構成部品
1	ヒータ本体
2	ブラケット
3	取付ネジ (M5×12L)
4	取付ネジ (M6×16L)
5	オプション基板 (TCB-PCUC2)

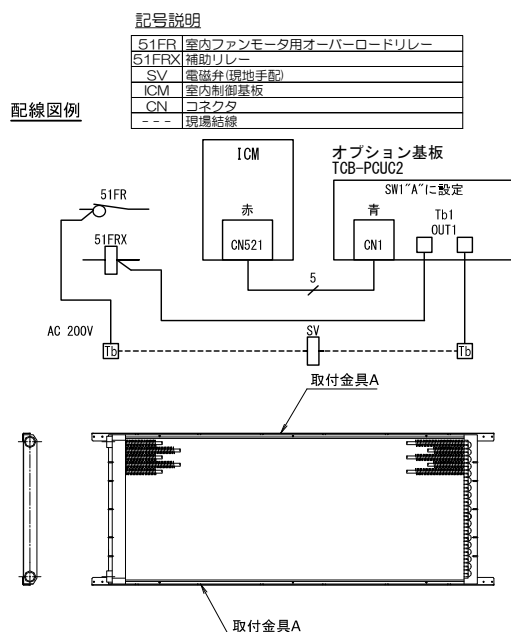
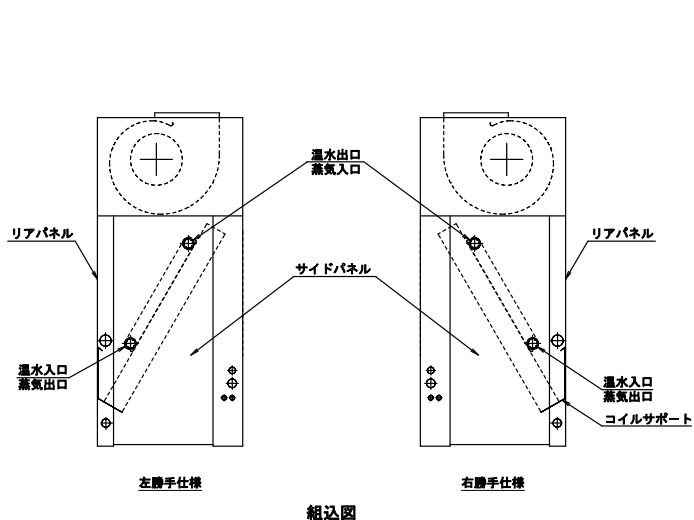


寸法図 (勝手仕様共通)

### 取付方法

取付は下記の手順で行ってください。

- 1.コイルセクション両側のサイドパネルとリアパネルを取り外し取付金具Aをコイルサポートに取付ネジ(M6×16L)で固定します。
- 2.ヒータを1で組み立てた取付金具に載せ、取付ネジ(M5×12L)で固定します。
- 3.配管勝手側のサイドパネルのノックアウト穴を開け、50Aの銅管(現地手配)を接続して、サイドパネルとリアパネルを取り付けてください。
- 4.配管中の最も高い位置に空気抜きを、最も低い位置に水抜きを設けてください。



※右勝手仕様の場合を示します。

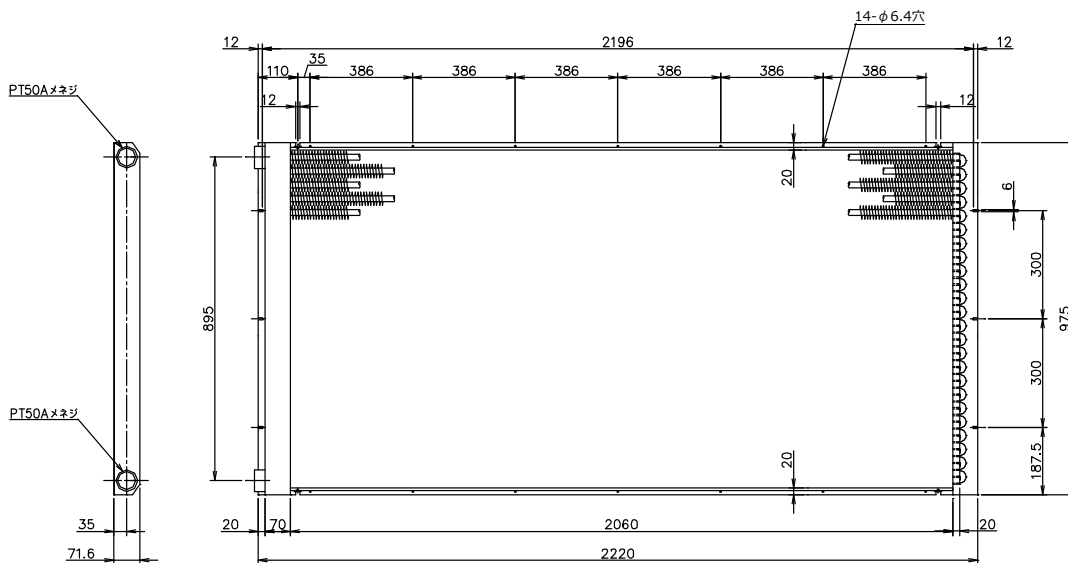
# RBP-CP50C-R/L (適用ユニット: RDA-MAP1400\*HS/HSF1-1、RDA-MUP1400\*H/HF)

仕様表	
構造	ギャリフィンコイル
列数	2
フィンピッチ	14枚/25.4mm
質量 (kg)	67
保有水量 (L)	24.0
最高使用圧力	温水 (MPa)
	0.49
最高使用圧力	蒸気 (MPa)
	0.14

No	構成部品
1	ヒータ本体
2	ブラケット
3	取付ネジ (M5×12L)
4	取付ネジ (M6×16L)
5	オプション基板 (TCB-PCUC2)

注1、吸込側から見て、右勝手 (R)、左勝手 (L) となります。

注文時に勝手方向を指定してください。

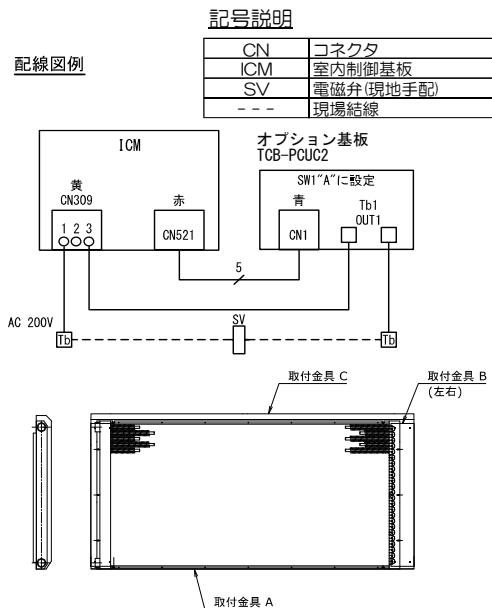
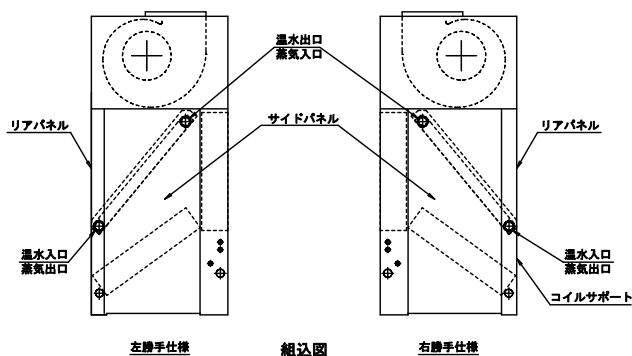


寸法図 (勝手仕様共通)

## 取付方法

取付は下記の手順で行ってください。

1. コイルセクション両側のサイドパネルとリアパネルを取り外し取付金具Aをコイルサポートに取付ネジ (M5×12L) で固定します。
2. 取付金具Bと取付金具Cを取付ネジ (M5×12L) で固定します。
3. 2. で組み立てた取付金具をユニットの後部側柱とサイドアングルに取付ネジ (M6×16L) で固定します。
4. 取付金具Aと取付金具Bを取付ネジ (M5×12L) で固定します。
5. ヒータの左右に取付金具Dを取付ネジ (M5×12L) で上下に取付金具Eを取付ネジ (M5×12L) で取付ます。
6. 5. で組み立てたヒータを1.~4. で組み立てた取付金具に載せ、取付ネジ (M6×16L) で固定します。
7. 配管勝手側のサイドパネルのロックアウト穴を開け、50Aの銅管 (現地手配) を接続して、サイドパネルとリアパネルを取付けてください。
8. 配管中の最も高い位置に空気抜きを、最も低い位置に水抜きを設けてください。



※右勝手仕様の場合を示します。

## RBP-CP60C（適用ユニット：RDA-MAP1600\*HS/HSFI-1、RDA-MUP1600\*H/HF）

注1、空気吸込口側から見て左側のコイルカバーを取り外し、下側温水・蒸気

ヒータをすべり込ませ、レールに溶接されているM8 ナットとヒータ取付穴

を合せ、付属のM8 ボルトで固定します。この時、ヒータ上面には

右図の通り付属の平ワッシャ 2 枚を入れ固定してください。

次に上側を同様に固定してください。

注2、ヒータ本体はSマークのニップルを上側にして組み込んでください。

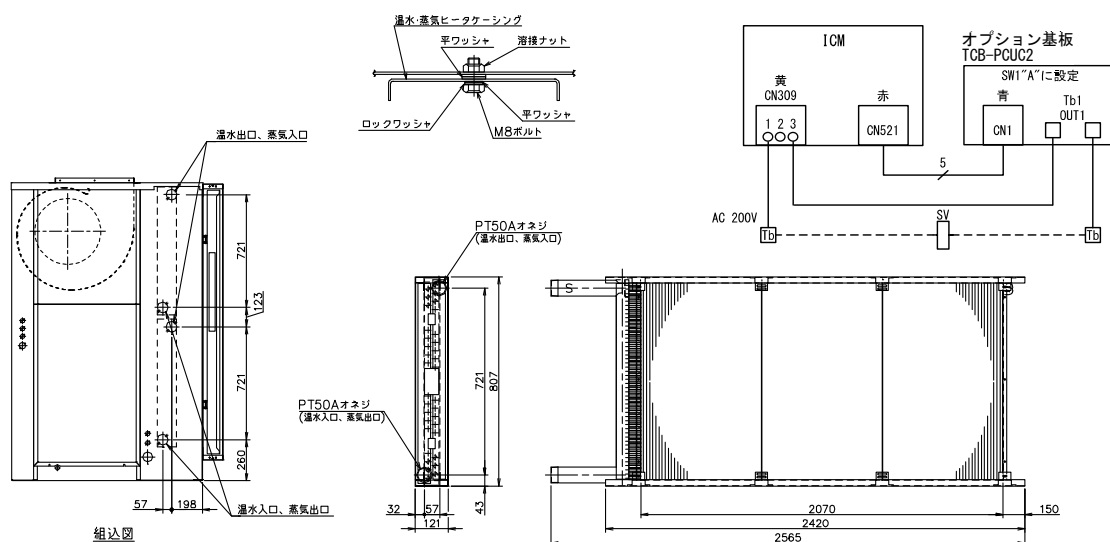
仕様表		
構造	プレートフィンコイル	
列数	2	
フィンピッチ	11枚/25.4mm	
質量 (kg)	57×2	
保有水量 (L)	14.2×2	
最高使用圧力	温水(MPa <sub>a</sub> )	1.0
	蒸気(MPa <sub>a</sub> )	0.14

No	構成部品
1	ヒータ本体
2	ボルト (M8)
3	平ワッシャ
4	ロックワッシャ
5	オプション基板 (TCB-PCUC2)

### 記号説明

CN	コネクタ
ICM	室内制御基板
SV	電磁弁(現地手配)
---	現場結線

### 配線図例



## RBP-CP80C（適用ユニット：RDA-MAP2240\*HS/HSFI-1、RDA-MUP2240\*H/HF）

注1、空気吸込口側から見て左側のコイルカバーを取り外し、下側温水・蒸気

ヒータをすべり込ませ、レールに溶接されているM8 ナットとヒータ取付穴

を合せ、付属のM8 ボルトで固定します。この時、ヒータ上面には

右図の通り付属の平ワッシャ 2 枚を入れ固定してください。

次に上側を同様に固定してください。

注2、ヒータ本体はSマークのニップルを上側にして組み込んでください。

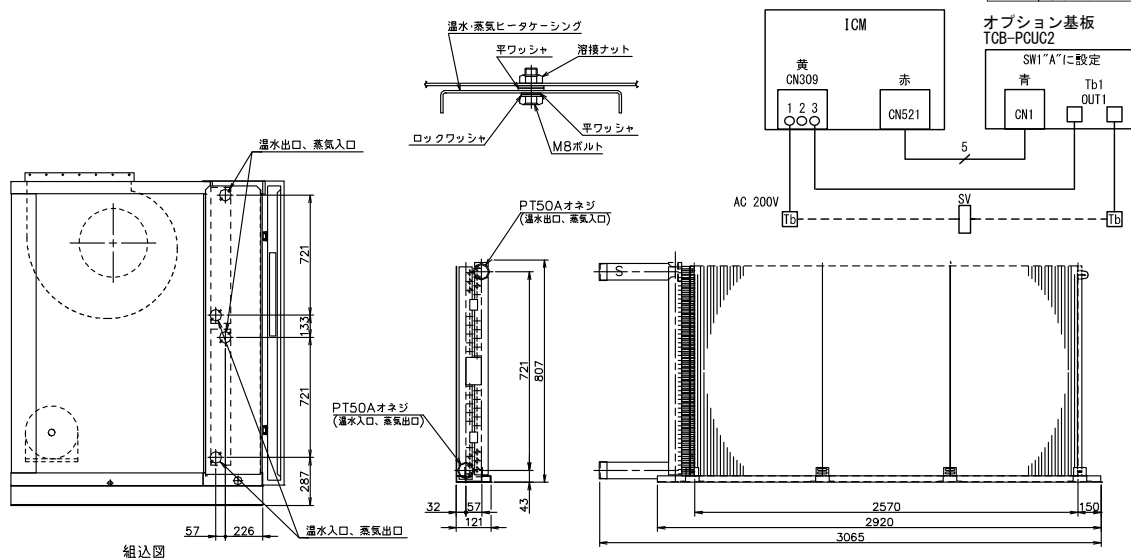
仕様表		
構造	プレートフィンコイル	
列数	2	
フィンピッチ	11枚/25.4mm	
質量 (kg)	67×2	
保有水量 (L)	16.9×2	
最高使用圧力	温水(MPa)	1.0
	蒸気(MPa)	0.14

No	構成部品
1	ヒータ本体
2	ボルト (M8)
3	平ワッシャ
4	ロックワッシャ
5	オプション基板 (TCB-PCUC2)

### 記号説明

CN	コネクタ
ICM	室内制御基板
SV	電磁弁(現地手配)
---	現場結線

### 配線図例



# RBP-CP100C

(適用機種：RDA-MAP2800\*HS/HSFI-1、MAP3150\*HS/HSFI-1、RDA-MUP2800\*H/HF、RDA-MUP3150\*H/HF)

注1、水配管する側のコイルカバーを取り外し、下段温水・蒸気

ヒータを滑り込ませ、レールに溶接されているM8 ナットと

ヒータ取付穴を合せ、付属のボルトで固定します。この時、

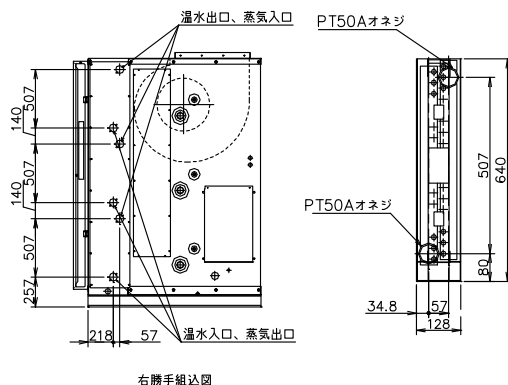
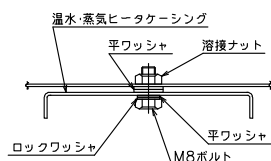
ヒータ上面には右上図の通り付属の平ワッシャ 2 枚を入れ

固定してください。次に中段、上段と同様に固定してください。

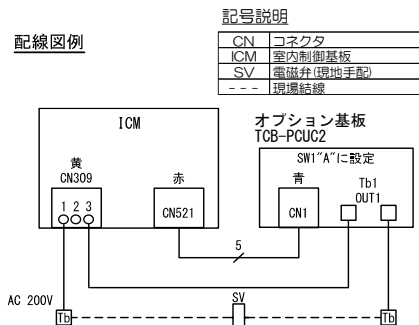
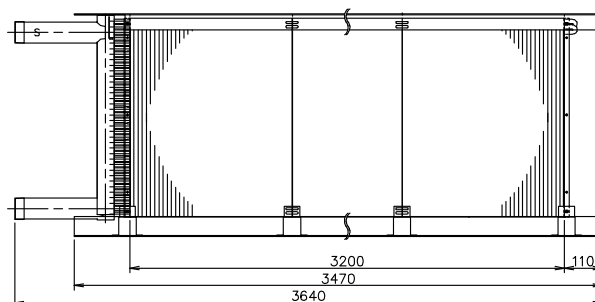
注2、ヒータ本体はSマークのニップルを上側にして組み込んでください。

仕様表		
構造	プレートフィンコイル	
列数	2	
フィンピッチ	11枚/25.4mm	
質量 (kg)	63×3	
保有水量 (L)	15.4×3	
最高使用圧力	温水(MPa)	1.0
	蒸気(MPa)	0.14

No	構成部品
1	ヒータ本体
2	ボルト (M8)
3	平ワッシャ
4	ロックワッシャ
5	ナット (M8)
6	オプション基板 (TCB-PCUC2)



右勝手組込図



## ■ 温水・蒸気ヒータ能力特性（一般空調仕様）

- (1) 能力線図は、室内入口空気温度 21℃（温水使用については温水入口温度は 60℃）での値です。標準条件以外で使用する場合は、暖房能力補正係数により暖房能力を補正してください。

$$\text{補正能力} = \text{暖房能力} \times \text{補正係数}$$

- (2) 出口空気温度は下式より算出して 60℃以下になるようにしてご使用ください。60℃以上で運転を続けると、ファンモータおよびファンシャフト用ベアリングの寿命が著しく減少します。

$$\text{出口空気温度} = \text{入口空気温度} + \frac{\text{暖房能力 (kW)} \times 860}{0.29 \times 60 \times \text{風量 (m}^3/\text{min)}}$$

- (3) 外気処理仕様に取り付ける場合は、P. 13 以降を参照してください。

### 温水使用 暖房能力補正係数

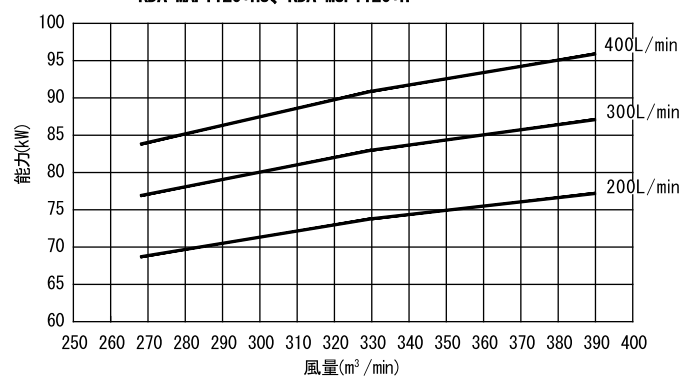
温水入口温度 (℃)	入口空気温度 (DB℃)				
	15	18	21	24	27
45	0.769	0.692	0.615	0.538	0.462
50	0.897	0.821	0.744	0.667	0.590
60	1.154	1.077	1.000	0.923	0.846
70	1.410	1.333	1.256	1.179	1.103
80	1.667	1.590	1.513	1.436	1.359

### 蒸気使用 暖房能力補正係数

入口空気温度 (DB℃)				
15	18	21	24	27
1.090	1.045	1.000	0.955	0.910

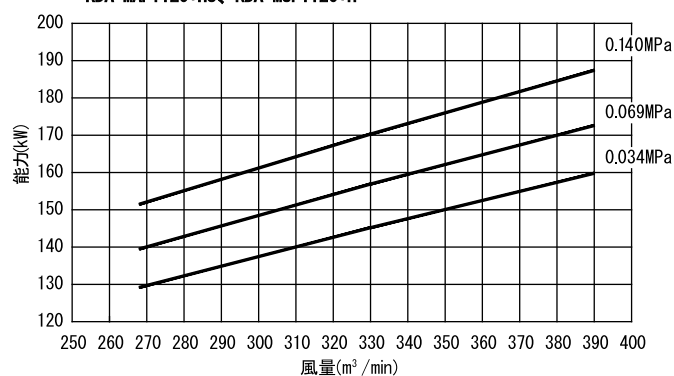
RBP-CP45C-R/L 温水使用 暖房能力

RDA-MAP1120\*HS、RDA-MUP1120\*H



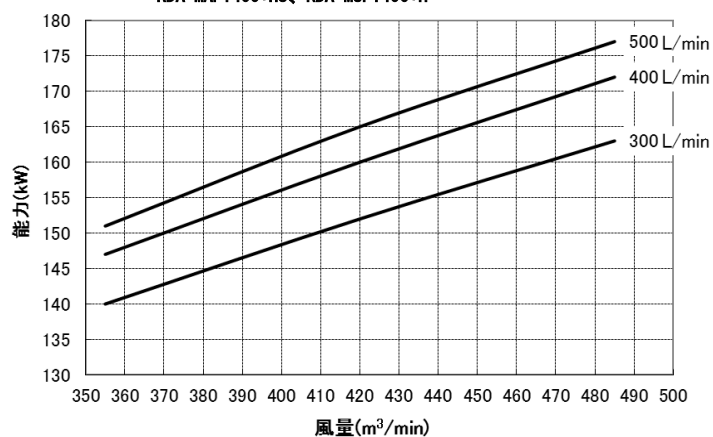
RBP-CP45C-R/L 蒸汽使用 暖房能力

RDA-MAP1120\*HS、RDA-MUP1120\*H



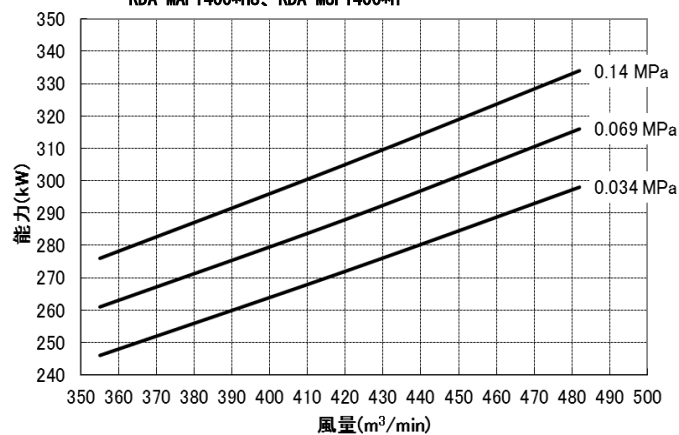
RBP-CP50C-R/L 温水使用 暖房能力

RDA-MAP1400\*HS、RDA-MUP1400\*H



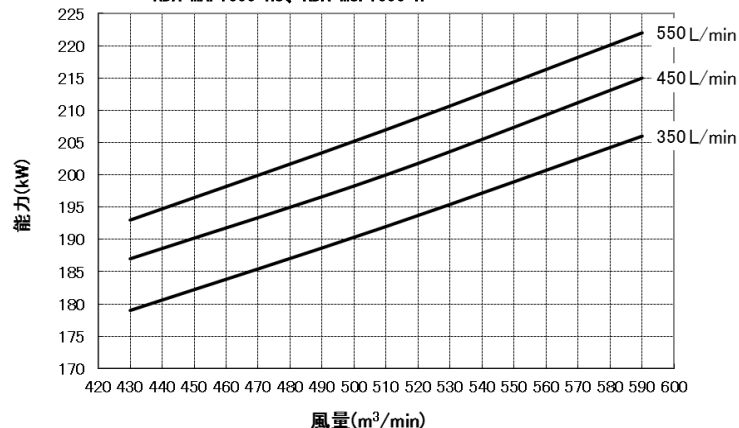
RBP-CP50C-R/L 蒸汽使用 暖房能力

RDA-MAP1400\*HS、RDA-MUP1400\*H



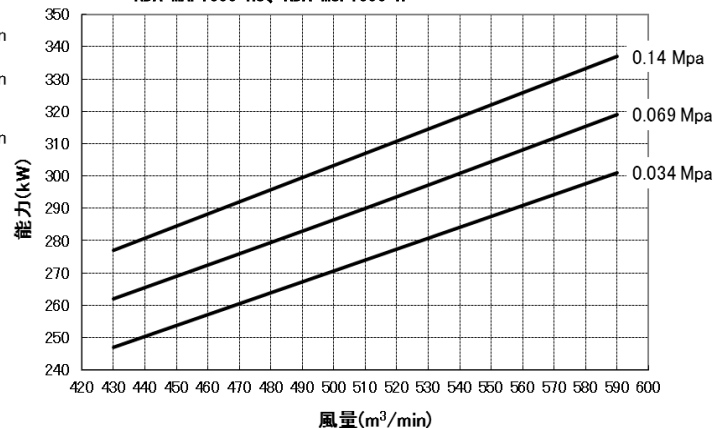
RBP-CP60C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP1600\*HS、RDA-MUP1600\*H



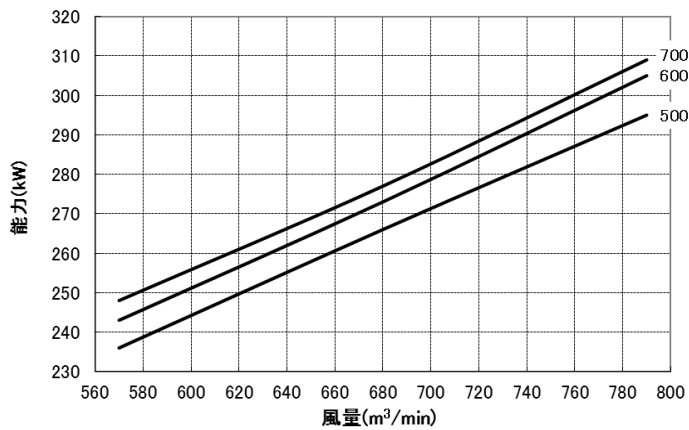
RBP-CP60C 蒸汽使用 暖房能力

RDA-MAP1600\*HS、RDA-MUP1600\*H



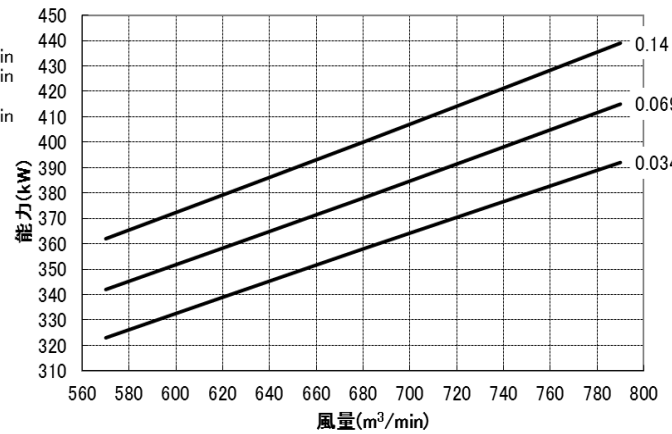
RBP-CP80C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP2240\*HS、RDA-MUP2240\*H



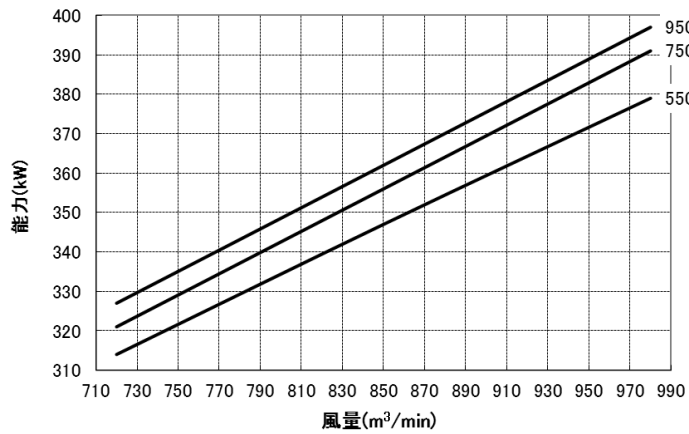
RBP-CP80C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP2240\*HS、RDA-MUP2240\*H



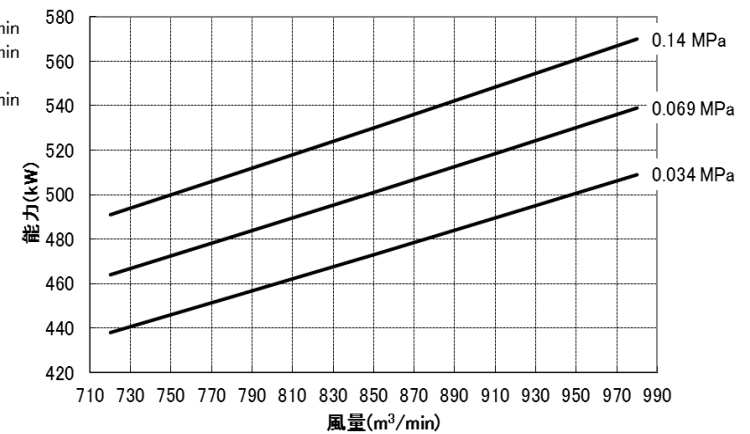
RBP-CP100C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP2800\*HS、RDA-MUP2800\*H



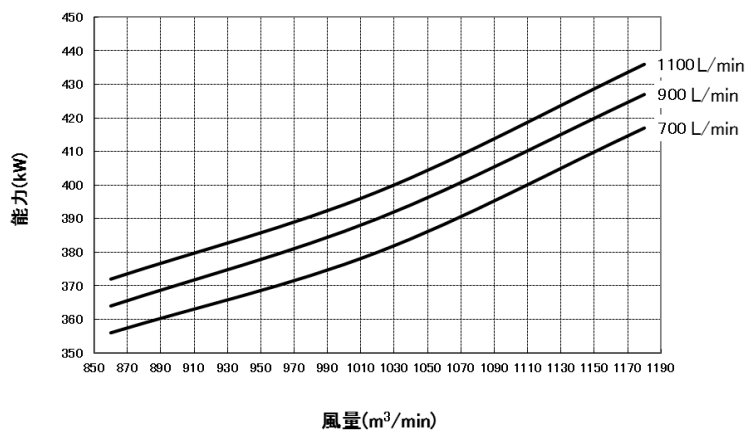
RBP-CP100C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP2800\*HS、RDA-MUP2800\*H



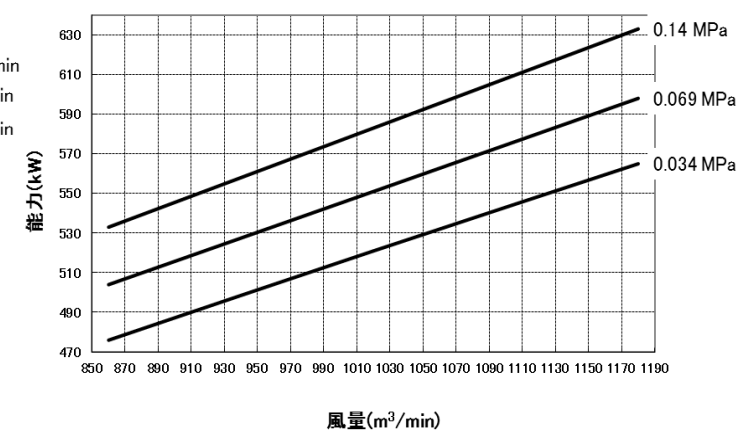
RBP-CP100C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP3150\*HS、RDA-MUP3150\*H



RBP-CP100C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP3150\*HS、RDA-MUP3150\*H



## ■ 温水・蒸気ヒータ能力特性（外気処理仕様）

- (1) 能力線図は、室内入口空気温度 7℃（温水使用については温水入口温度は 60℃）での値です。  
標準条件以外で使用する場合は、暖房能力補正係数により暖房能力を補正してください。

$$\text{補正能力} = \text{暖房能力} \times \text{補正係数}$$

- (2) 出口空気温度は下式より算出して 60℃以下になるようにしてご使用ください。60℃以上で運転を続けると、ファンモータおよびファンシャフト用ベアリングの寿命が著しく減少します。

$$\text{出口空気温度} = \text{入口空気温度} + \frac{\text{暖房能力 (kW)} \times 860}{0.29 \times 60 \times \text{風量 (m}^3/\text{min)}}$$

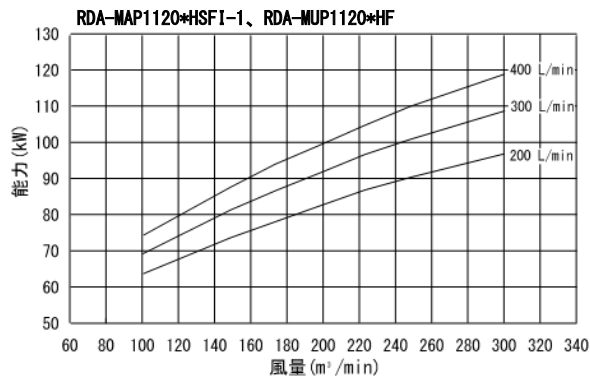
温水使用 暖房能力補正係数

温水入口温度 (℃)	入口空気温度 (DB℃)							
	1	4	7	10	12	15	18	21
45	0.830	0.773	0.717	0.660	0.622	0.566	0.509	0.452
50	0.924	0.868	0.811	0.754	0.717	0.660	0.604	0.547
60	1.113	1.057	1.000	0.943	0.906	0.849	0.792	0.736
70	1.302	1.245	1.188	1.132	1.094	1.037	0.981	0.924

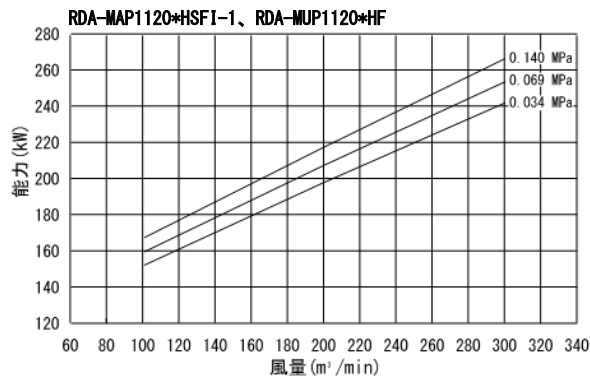
蒸気使用 暖房能力補正係数

入口空気温度 (DB℃)							
1	4	7	10	12	15	18	21
1.073	1.037	1.000	0.963	0.939	0.902	0.866	0.829

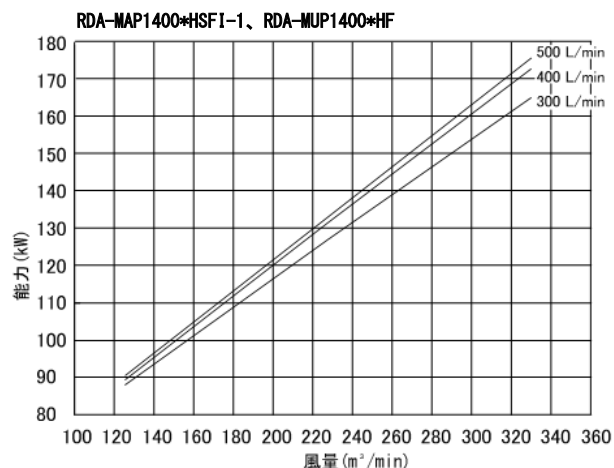
RBP-CP45C-R/L 温水使用 暖房能力



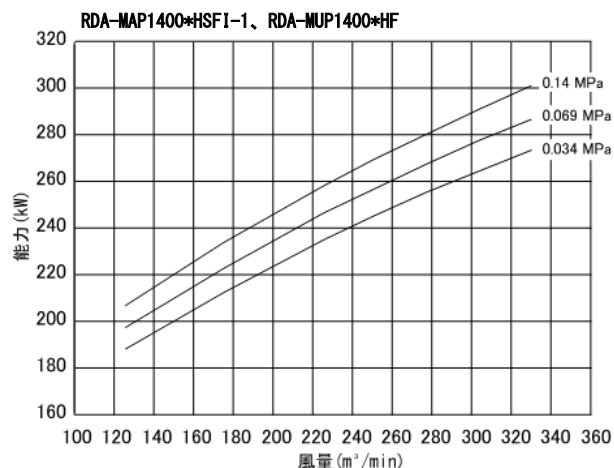
RBP-CP45C-R/L 蒸気使用 暖房能力



RBP-CP50C-R/L 温水使用 暖房能力

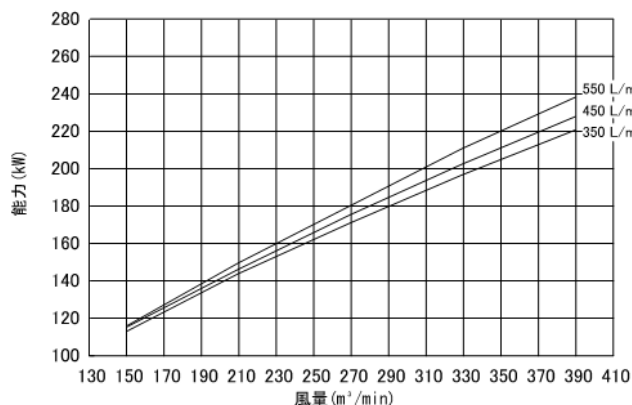


RBP-CP50C-R/L 蒸気使用 暖房能力



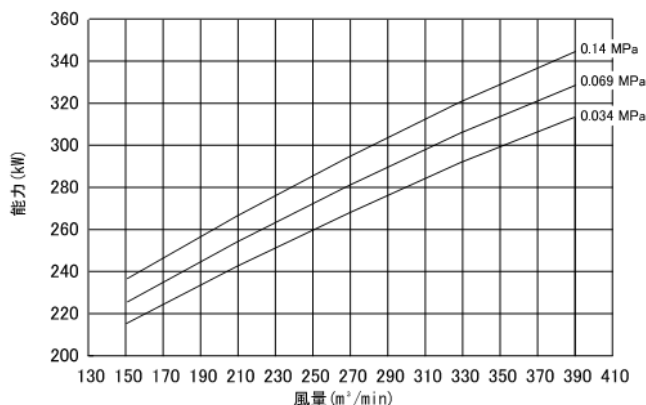
RBP-CP60C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP1600\*HSFI-1、RDA-MUP1600\*HF



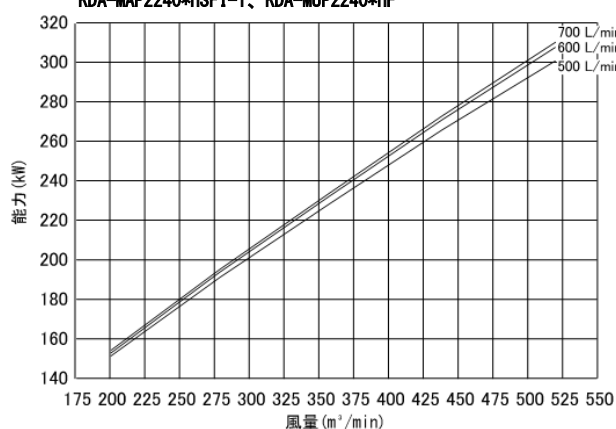
RBP-CP60C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP1600\*HSFI-1、RDA-MUP1600\*HF



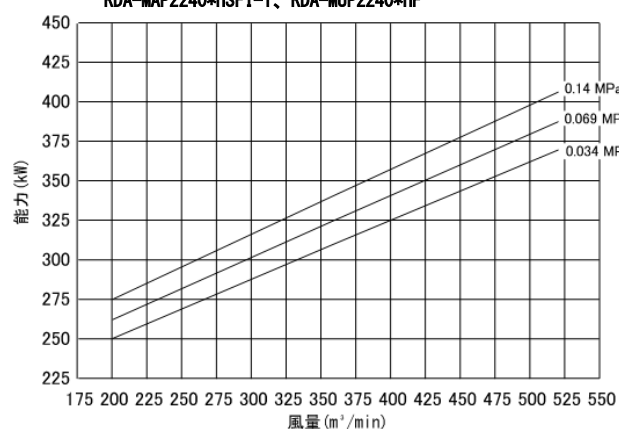
RBP-CP80C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP2240\*HSFI-1、RDA-MUP2240\*HF



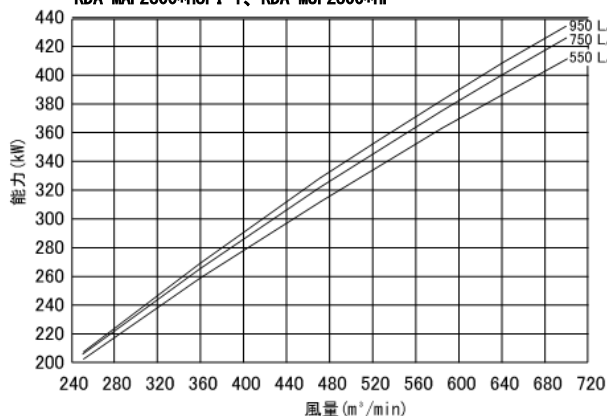
RBP-CP80C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP2240\*HSFI-1、RDA-MUP2240\*HF



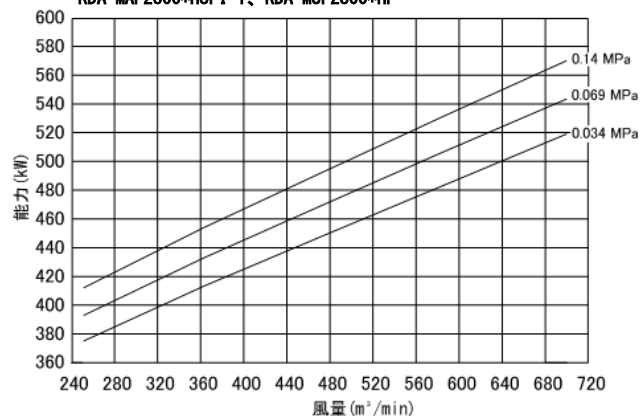
RBP-CP100C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP2800\*HSFI-1、RDA-MUP2800\*HF



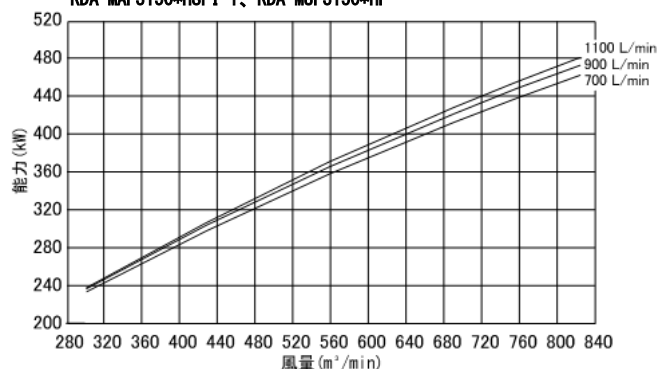
RBP-CP100C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP2800\*HSFI-1、RDA-MUP2800\*HF



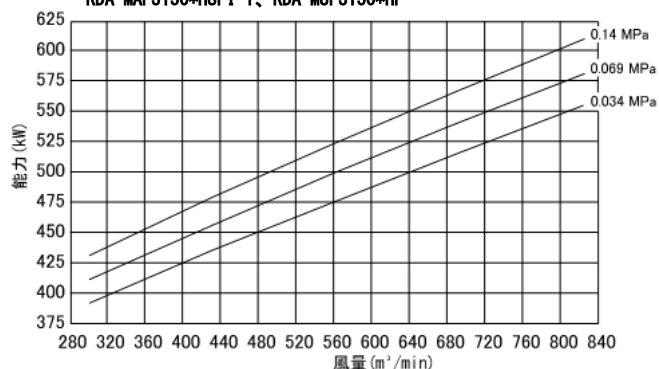
RBP-CP100C 温水使用 暖房能力

RDA-MAP3150\*HSFI-1、RDA-MUP3150\*HF



RBP-CP100C 蒸気使用 暖房能力

RDA-MAP3150\*HSFI-1、RDA-MUP3150\*HF



修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は お買い上げの販売店または弊社支社店へご相談ください。

保守に関するご用命・ご相談はこちらまでご連絡ください。  
サービス営業部サービスセンター／0120-1048-37



日本キャリア株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1- 11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー7 階